

令和7年度 浅間台地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価

—総括表—		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
・ケアプラザの役割をより多くの人に知ってもらい、子どもから高齢者まで利用しやすい身近な地域の活動拠点となるよう取り組んでいきます。 ・高齢化率も高くなっているため、高齢者が活躍できる場や認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	認知症に対する正しい理解を広めていけるよう 多角的視点から課題抽出を継続していきます。 Nカフェ以外にも新たな「認知症カフェ」の立ち上げ支援をしていきます。 認知症サポーター養成講座の開催だけでなく、エリア内の認知症カフェや通いの場をつなぎ、認知症に対する正しい理解を広め、認知症の人にも優しい地域を目指していきます。
☐	☒	ケアプラザ機能や職員の顔を知っていただき、気軽に相談できよう、地域の会合や活動に参加したり、地域住民に向けた出張相談や講座を開催します。
☐	☒	子育てや介護、社会参加等 情報が必要な方に届くよう、毎月広報紙発行、SNS、HPを活用し、情報発信を継続していきます。
☐	☒	地域活動を支援する新たな団体や企業を模索し、地域活動の継続や活性化につなげていきます。
☐	☒	小中学生の職場体験や大学生の介護体験等を積極的に受け入れて、ボランティア活動や地域活動について知る機会を作ります。また、ケアプラザ祭りや事業を通して子どもから高齢者まで一人ひとりの活躍できる場をつくっていきます。
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
4月に認知症カフェが立ち上がりエリア内に2か所開催されています。ケアプラザからの働きかけにより認知症カフェ運営者を中心に5名のキャラバンメイトが増えました。今後もキャラバンメイトの方とともに認知症についての正しい理解を広めていきます。 地域の会合や活動に参加し、福祉保健の情報提供や保健活動推進員の方や他のCPと健康チェックのブースを担当したり、5職種の顔写真入りのカードを作成し、配布して顔を覚えていただけるよう努めました。 広報紙は、回覧、掲示板にも掲示しやすいようサイズを変更し、毎月発行してきました。SNSも始めていますが、まだ、あまり軌道にのっていないので、魅力あるものにできるよう努めます。 近隣の小学校と授業や多世代交流の機会や大学生の介護体験等の受け入れを積極的に行っています、高齢者との話し方等や助け合いの必要性も考えていただく機会となりました。次年度も受け入れを積極的に行います。		
区からのコメント		
(全事業共通事業) ○今年度は「にこまちプラン」の策定に向けて区役所や区社会福祉協議会と協働し、地区懇談会の開催や地区別計画リーフレットへの掲載団体の紹介などにご尽力いただきました。 ○引き続き、にこまちプラン地区別計画の推進においては、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の3者で連携しながら、地区支援に取り組んでいきたいと思います。よろしく願います。 ○エリアの様々な居場所等を支援されていることで活発な地域活動の一助となっています。今後も引き続き、多職種によるアセスメントを通じて、地域での支えあいの取り組みがより一層推進されるよう支援をお願いします。 ○地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の3者による地区支援チーム会議では地域に最も身近な施設として、情報共有に留まらず、支援すべき地域課題やチームの役割分担等を提案いただき、効果的な地区支援に向けて力を発揮してくださいました。 (地域包括支援センター事業) ○地域ニーズを丁寧にあセスメントし、キャラバンメイトと連携して、チームオレンジ活動として新たに認知症カフェの取組を開始いただきました。介護予防のきっかけづくりや、地域包括ケアの推進に向けた地域づくりにも前向きかつ積極的に取り組んでいただいていることに感謝いたします。今後も、包括内の連携を一層強化し、認知症、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント等の分野において、地区診断に基づくエリアニーズに即した取組の推進を期待します。		